

行きたいときに 行きたいところに行ける そんな地域の足を 地域で支える



田圃の中を走るのりあいタクシー。年々、拡充を重ね、現在3台の車両が町内を走っています。

利用者の声
User's voice
まつ おてつ や
松尾徹也さん
(竹成区)
age 69

最近、家族の指摘などから自分の運転を危険だと感じ、免許返納を考え始めました。ですが、持病もあって2週間に1度は病院に通わなければいけないことや、近くに買い物ができるお店もなく、移動手段として車がなくなることや心配していました。そこで、免許返納後のことを考え、町内の公共交通を試しに利用してみています。通院や買い物に公共交通を利用して、今のうちから勉強しています。

利用者の声
User's voice
ささぎ きよひでとし
笹崎豪俊さん
(大羽根園区)
age 74

71歳のときに自家用車を手放し、現在の主な移動手段はのりあいタクシーで、非常に良い制度だと感じています。すぐに出かけるにはやや不便ですが、妻と私で週に3~4回、利用時間の最短30分前に予約し、通院や買い物などに利用しています。私自身はスマートフォンではないので、外出先では妻に予約を手伝ってもらっていますが、どこからでも予約できる「おでかけこもの」も便利に感じています。

自家用車のない生活に備えて

年 齢を重ねれば、身体能力や反射神経が衰え、自らの運転に不安を覚えるときがやってきます。そのとき、自家用車で移動できなくなり、自家用車のない生活を送らなければなりません。菰野町は、東西方向に13歳、南北方向に10歳のほぼ四角形に近い形をしており、町内、町外への移動には乗り物が欠かせません。また、町南部に駅や役場本庁、菰野厚生病院、商業施設などが集中していることから、地域によっては自家用車がないと不自由に感じる場面も多いかもしれません。年齢を重ねて自家用車を運転できなくなったとき、どうやって目的地まで移動しますか？そんな誰しもが抱える可能性がある困りごとを地域密着の公共交通が解決します。

地域に直結した公共交通機関

町 内の公共交通機関には、のりあいタクシー、尾高タクシー、コミュニティバス、三重交通バス、近鉄湯の山線などがあります。中でも「のりあいタクシー」と「コミュニティバス」は、菰野町と(尙)尾高三重交通が連携して運営する地域に直結した地域公共交通サービスです。「のりあいタクシー」は、利用には予約が必要ですが、バスの少ない時間帯や最寄りのバス停がない方には特に便利な乗り物です。町内には現在266か所の乗降場所があり、皆さんのご自宅の近くにも乗降場所があると思います。コミュニティバスや近鉄湯の山線と組み合わせれば活用すれば、さらに移動範囲を広げることができ、高齢者の利便な足となります。行きたいときに行きたいところへ行ける。これに例え、高齢者になって自家用車にならなくなったとして生活に欠かれないニーズに応えたいところへ



①高齢者でもワンステップで乗り込める新型コミュニティバス②65歳以上の方は100円で移動できるため利用者も多いです

誰にとっても欠かすことができない移動手段としての乗り物
地域で公共交通という
移動手段を存続させてゆく

サポーターの声
Supporter's voice
(尙)尾高 わだ しょういち
和田庄一さん

のりあいタクシーの利用者は、免許を返納された方も多く、スマートフォンで予約を行う方が増えています。目的地まで寄り道することなく向かえるため、時間もかからず喜んでもらっています。また、乗り合いとなった場合も利用者同士で「おでかけこもの」の使い方を車内で共有したりして、コミュニケーションの場として有効活用してもらっている側面もあります。

地域の環 Community welfare cycle

地域直結 公共交通DATA

NORIAI TAXI のりあいタクシー >>>

運行区間 町内各乗降場所
運行事業者 町が(尙)尾高に委託
利用料金 65歳以上 100円 (同一エリア内、web予約時)
※乗降場所のエリアによって金額変動

COMMUNITY BUS コミュニティバス >>>

運行区間 町内7路線
運行事業者 町が三重交通(株)に委託
利用料金 65歳以上 100円

利用者0ならば存続できない

ど れだけ便利な公共交通機関でも利用者がいなければ、その公共交通機関は存続できません。いつか自家用車を手放すときのために、早くから公共交通機関に慣れ親しむ、利用しておくことが大切になります。まだ利用したことがない方は、たまにでも、少しでも、まずは利用してみることをお勧めします。これからの地域を支える力を地域で生み出す「地域の環」。皆さんが年齢を重ねたとき、その力が循環する波となって、皆さん自身の生活に役立つときがきます。そのためにも、活用できる余力が少しでもあるならば、有効利用してみたいかがでしょうか。



▲町内の至るところに設置された乗降場所から目的地の乗降場所まで移動することができるのりあいタクシー

▼運転手や乗り合わせた方と何気ない会話ができることも自家用車の移動では得られないコミュニケーションのひとつ

